

事務事業名	33800 消防庫整備事業	予算科目	会計 一般	款 9	項 1	目 2	所管課 消防本部	担当班 総務課消防団班
事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	根拠法令	消防組織法第18条第2項及び消防力の整備指針					
施策体系	基本施策 30 消防力の強化 施策の展開 59 非常備(消防団)消防体制の充実	戦略事業	262 消防庫の整備					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 年度～ 平成 年度まで	既存の消防庫の内、耐震性に難があり老朽化が顕著な消防庫から改築を進める。消防庫は地域防災において重要な役割を担う消防団の活動拠点となる。 消防庫の建設用地は地元区で選定し、民有地の場合は地元区と地権者の間で賃借契約を結ぶ。 市は地元において用意された土地に消防庫を建築する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・消防団が設置された当時よりある。合併前(海上・飯岡・干潟)の消防庫は地元各区が主体となって消防庫を建てていた(自治体としての関与は補助金の交付)。消防団の活動拠点として市が建築することにより統一した消防庫が建築することができる。	・材料費や燃料価格の高騰、建設業界の人手不足等により、契約金額が年々増加している。	・地域防災の拠点として地元住民からの要望は高い。 ・建設用地の選定が難しい。候補地を見つけても無償貸与の契約を締結できない。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円	
1.設計・監理委託料	486 設計委託料(確認申請手数料含む)・監理委託料
2.工事費(消防庫改築)	15,055 30年度分1棟
3.工事費(解体・撤去)	1,253 未使用の消防庫1棟、建替えに伴う解体1棟
4.上水道給水申込納付金	108 1件分
5.その他	0 手数料
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	2,245 消防防災施設強化事業補助金
3.地方債	13,200 緊急防災・減債事業債
4.その他	0

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
	1.設計・監理委託料	千円	2,592	3,618	756	486	0
財源	2.工事費(消防庫改築)	千円	31,862	60,002	15,120	15,055	0
	3.工事費(解体・撤去)	千円	1,026	2,087	1,300	1,253	0
	4.上水道給水申込納付金	千円	108	216	108	108	0
	5.その他	千円	60	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	35,648	65,923	17,284	16,902	0
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円	2,657	8,980	2,245	2,245	
	3.地方債	千円	31,200	51,700	13,600	13,200	
	4.その他	千円	1,719	1,828			
	5.一般財源	千円	72	3,415	1,439	1,457	0

前年度増減理由	入札価格が前年度より下がったため
---------	------------------

従事職員数 常時 2人 最大 3人 × 40日 = 延べ 120人

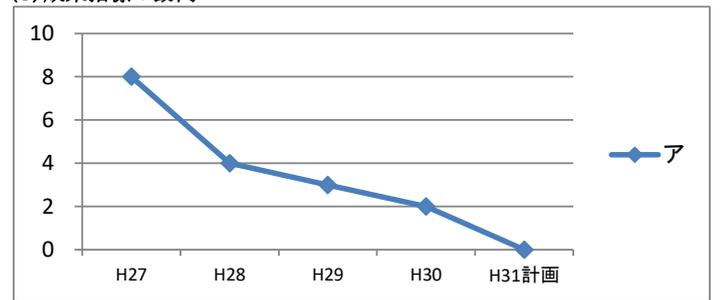
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)							
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	対象意図 ・消防庫 計画的に更新を行なう。							
手段	消防庫1棟改築 第5中隊第2分団第3部 消防庫解体 第4中隊第3分団第1部第2班消防庫、第5中隊第1分団第3部2班	ア 改築消防庫棟数	棟	2(繰越)	4	1	1	0
目的		イ 解体・撤去消防庫棟数	棟	1	4	2	2	1
手段		ア 築30年以上経過し老朽化等に伴い改築が必要とされる消防庫数	棟	8	4	3	2	0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果					
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率				
	かなりある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3		
	ある程度ある		①	②	③	④⑤	⑥
大きい	②						
普通							
小さい							

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難										
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31計画
	【コメント】(低下の場合、その理由)				<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	成果動向	ア	0	△4	△1	△1	△2
③ 今年度取組事項	時期	内容		今後の方向性								
(31年度に取り組み、主な事項について記載)		改築による老朽化し未使用の消防庫1棟の解体		<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()	・例年どおり							